

宗谷地区 教育経営研究会

- 1 目的 北海道小学校長会・北海道中学校長会及び地区校長会が抱えている教育経営上の具体的な課題を取り上げ、その解決の方途を法制研究の視点から探る。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会
- 3 後援 北海道教育庁宗谷教育局 宗谷管内教育委員会連絡協議会
- 4 主管 宗谷校長会
- 5 日時 令和4年7月27日(水) 13時45分～14時30分
- 6 会場 サフィールホテル稚内(道小・道中の担当役員・幹事の皆様はオンライン参加)
- 7 参加者 宗谷管内小中学校長(52名)
- 8 日程 13時45分～13時50分 開会式
13時50分～14時10分 教育情勢に関する説明
14時10分～14時25分 質問事項に関する説明および協議
14時25分～14時30分 閉会式
- 9 説明者 北海道小学校長会事務局長 森田智也氏
北海道小学校長会事務局幹事 西村裕子氏
北海道中学校長会事務局幹事 山田誠一氏
- 10 研究の概要
道小事務局長より道小・道中の活動・教育情勢についての報告、道小・道中事務局幹事より宗谷校長会からの質問事項への回答・説明がなされ、その後、全体協議を行った。
司会 豊富町立豊富小学校 三野宮 誠 一
記録 利尻町立利尻中学校 本田 辰 也

【教育情勢の報告】・・・森田事務局長

- 働き方改革・教員確保・教員育成・研修について
- 中教審・予算・行財政について
- 児童の視力低下と肥満傾向の全年齢平均超について
- いじめ防止条例制定について
- 学校給食支え60年の田中製パンへの感謝の会について

【質問事項への回答・協議】・・・西村幹事・山田幹事

(1) 小学校での専科指導について

令和3年度は全道で432校、令和4年度では475校に専科教員が加配となっている。内訳は外国語科が184校、理科は135校となっており、更なる拡充を国に要望している。道教委としては、拡充を4年程度として段階的に進めている。小規模校の多い北海道の実情を考慮して、免外も認めていく方向で動いている。教職員の研修を深めて、人材確保に努めていくことが必要である。

(2) 定年延長についての制度設計について

道教委からの回答は、総務部・人事局と現在検討しているとのことである。具体的な条例の提案内容やスケジュールは未定である。役職定年制の導入に留意し、再任用制度との均衡を図り検討していくとのことである。

道中の見解としては、令和5年度より2年に1歳ずつ段階的に引き上がる。役職定年制は原則、60歳以上は管理職から降任ではあるが、人材の不足等により特例として管理職として勤務できることもある。給与体系については、現在の管理職給与に7掛けした数値になる。上記の内容は、国家公務員の場合であるが、地方公務員の場合は、道の条例改正の内容の確認が必要である。時期は未定とのことだが、12月頃と予想される。